

〔禁中年中行事四月〕朔日 今日常御殿立炭御火鉢被撤

略○中

紫宸殿御帳臺御更衣 奉行 四位五位職事或六位藏人勤之 裝束使史生御帷子調進 左右

官掌 官之召使

清涼殿御帳臺御更衣 奉行 四位五位職事六位藏人 出納御帷調進 掃部寮 御藏 南座  
〔禁中恒例年中行事四月〕朔日更衣 是は御服類夏に改られ、清紫兩殿御帳臺を帷壁代を夏の飾  
に玄かへらるゝなり、紫宸殿は史生、行事官、官掌等勤む。

〔光臺一覽〕授四月朔日衣替、天子今日より奥向御内證はとまれ角まれ、綿入御服を改て祫御服  
に被召替、冬春召れし綿入御服、典侍内侍御下之女觴へ、五十三十、十七は配賦して拜領有尤一尺  
四寸幅之白羽二重之御服也、毎朝新調之御服一つ宛は、上著に被召替御事なれば、夥敷御事なら  
め、

〔日次紀事四月〕朔日 更衣、今日稱更衣節、禁裏諸家自今日被著夏袍、自今日紫宸殿清涼殿改御裝  
束、紫宸殿者裝束使、史生、官掌奉仕之、御裝束者行事官調進、清涼殿者出納、御藏小舍人、掃部寮等奉  
仕之、御裝束者出納調進、至九月晦日、几帳等用單紗、地下良賤亦改綿服著祫衣互相賀也。

今日より五月四日まで祫を著るゆへに、今日を衣がへといふなり。

〔中右記〕寛治六年四月一日癸丑、藏人右兵衛尉高階爲行率所雜色等、依例撤冬御裝束供夏御座、  
〔長秋記〕元永二年四月一日、今日依日蝕不改御裝束、不被行平座、納言云、康和比、蝕不現、仍改兩殿御  
裝束件事覺給哉如何、下官○源時不覺悟、日不蝕入了、二日、今日改內裏御裝束、

〔永昌記〕保安五年四月一日戊申、今朝奉仕更衣御裝束、雲州所獻御几帳十帖、別納疊等令改鋪殿上  
座、本間一間改三間、

〔玉海〕建久二年四月一日戊寅、中宮御方依御更衣被改御裝束奉行宮司六位進行方也、而遂以不參